

2024年6月18日 農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

NZAM×TRANSIT の特集コンテンツの第4弾を掲載! 個性と文化が交わる「東京」にフォーカス

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社(NZAM:エヌザム、代表取締役社長:牛窪克彦)は、トラベルカルチャー誌『TRANSIT』とのコラボ企画(以下、本企画)である「ともに見つめる先にある未来」の特集コンテンツを公開したことをお知らせします。

本企画は 2023 年 9 月より開始した『TRANSIT』誌面と、特設サイトの連動企画となっており、第 1 弾では「アメリカ合衆国」、第 2 弾では「インド」、第 3 弾では「イギリス」を取り上げました

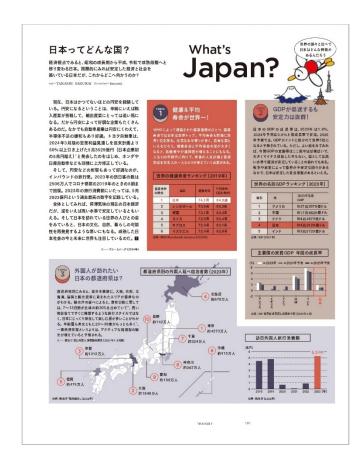
第4弾では視点を国内に移し、新しいものと古いものが隣り合わせにある「東京」にフォーカスを当てました。
TRANSIT編集部が渋谷の街を起点に「東京」の魅力を探る紀行文企画『世界を知る旅に出る -東京編-』、世界の国々と比べた日本の特徴を紹介した『日本ってどんな国?』、投資初心者の疑問に答えるQ&A企画『世界とつながる投資のキホン投資信託商品ってなんだ?』と『世界とつながる投資のキホン投資信託を始めてみよう』の4企画を掲載しています。



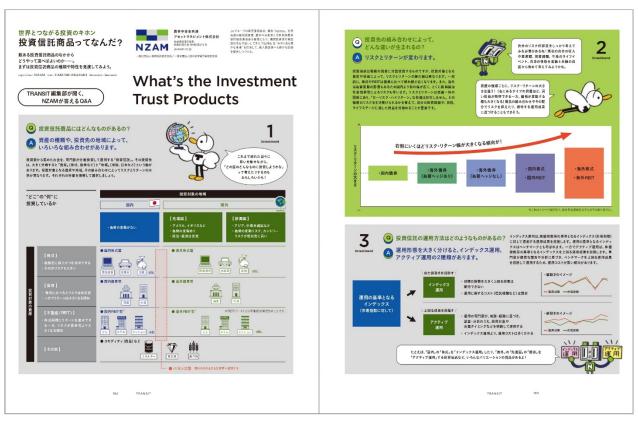
◀「NZAM×TRANSIT ともに見つめる先にある未来」の 特集コンテンツ『TRANSIT 64 号』より



▲「NZAM×TRANSIT ともに見つめる先にある未来」の特集コンテンツ『TRANSIT 64 号』より

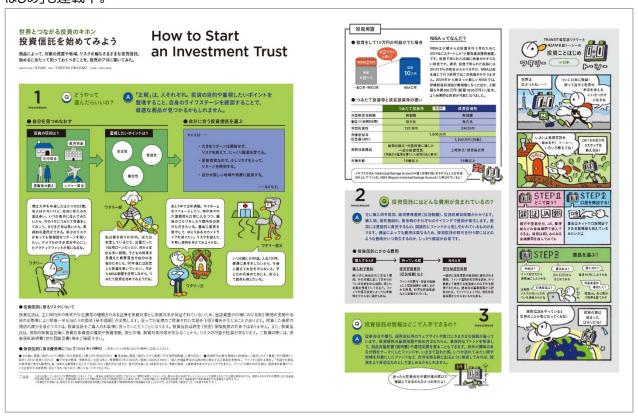


◆ 企画の一つ、「世界を知る旅に出る」。第4弾では 世界の国々と比べた「日本」の特徴を紹介。



▲「投資信託商品ってなんだ?」の企画では、数ある投資信託の中からどのように投資する商品を選べばいいかについて、投資のプロである NZAM が Q&A 方式で答えている。

また、TRANSIT 編集部と NZAM 社員を擬人化させたキャラクター、ワタリーとトーシーによるコミック企画「投資ことはじめ」も連載中。



▲「投資信託を始めてみよう」では、投資をスタートする際のポイントとして「ライフステージ」に着目する。

私たちは、旅や投資を通じてより深く関わることは、個々人それぞれの人生を豊かにするとともに、社会全体がよりよい 未来を実現していくことにもつながると考えています。これまで投資にあまり馴染みのなかった方にも、本企画を通じて 様々な切り口から投資の意義を知っていただき、興味を持っていただくきっかけになればと願っております。

■「ともに見つめる先にある未来」とは?

「旅と投資は(ほぼ)同義である。」をコンセプトに、資産運用会社である NZAM と、世界を旅する雑誌の TRANSIT のコラボ企画。異なるアプローチで世界とかかわり合ってきた 2 者が向き合ったとき、今ある世界をすみずみまで知りたいという欲望、よりよい世界となる未来への当事者としての期待、活動の根源にある気持ちはとても似通ったものでした。そこで私たちは手を取って、互いの得意分野をかけ合わせて、世界のこと・投資のことを見つめる機会をここに作りました。

旅が好きだけど投資をしたことのない人も、投資をしていて世界を自分の目で見る機会はこれからの人も。NZAMとTRANSITと一緒に、私たち人類が生きる世界の営みをゆっくりと眺めてみませんか?

「ともに見つめる先にある未来」特設サイト

https://www.ja-asset.co.jp/special/transit/index.html

■『TRANSIT』

地球上に散らばる美しいモノ・コト・ヒトを求めて旅をするトラベルカルチャー誌。価値観や経験則を一度リセットして、ニュートラルな視点で世界を見つめ、風景、生物、人びと、暮らし、歴史を掬いとってきました。消えゆくもの、変わらないもの、独自のもの、普遍的なもの……この先も残していきたいものを探し求めて、これからも旅をつづけます。

*3月·6月·9月·12月中旬、年4回発行

HP: https://transit.ne.jp/

■農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

住所:〒102-0074 東京都千代田区九段南一丁目6番5号 九段会館テラス

HP: https://www.ja-asset.co.jp/

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 372 号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

【当資料のご利用にあたっての注意事項等】

当資料は、プレスリリースとして当社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は投資勧誘を目的とするものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

【投資信託に係るリスクについて】

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、 当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値(基準価額)が変動し ます。従ってお客様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。投資した資産の価値の減少を含むリスク は、投資信託をご購入のお客様に負っていただくことになります。投資信託は貯金(預金)保険制度の対象ではあり ません。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が 異なることから、リスクの内容や性質が異なります。ご投資の際には投資信託説明書(交付目論見書)等をご確認 下さい。

【投資信託に係る費用について(2024年4月現在)】

ご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 申込時に直接ご負担いただく費用・・・ 申込手数料 上限 2.2% (税抜 2.0%)
- ・ 換金時に直接ご負担いただく費用・・・ 信託財産留保額 上限 0.30%
- ・ 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・ 信託報酬 上限年 1.65% (税抜 1.50%)
- ・ その他費用・・・上記以外に、監査費用(日々の純資産総額に年 0.0033%(税抜 0.003%)を乗じた額)のほか、組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、ファンドに関する租税、外国での資産の保管等に要する諸費用等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

ファンドの費用の合計額は、投資者の皆様がファンドを保有する期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、農林中金全共連アセットマネジメントが運用する全ての公募投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なります。ご投資の際には、投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご確認下さい。ご投資をされる際には、販売会社より最新の投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身で判断下さい。

【本件についてのお問い合わせ】

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社 営業部

お客様専用フリーダイヤル 0120-439-244

受付時間:9:00~17:00(土・日・祝日等を除く)